

緊急赤潮情報 3

令和4年6月16日
大分県農林水産研究指導センター水産研究部

別府湾でヘテロシグマ・アカシオ(有害プランクトン)が注意密度を超えており、着色しています。また、カレニア・ミキモトイが確認されています。魚介類の管理に十分注意して下さい。

発生場所 別府湾（家島橋下）
プランクトン種類 ヘテロシグマ・アカシオ
30,000 細胞/ml （表層）
カレニア・ミキモトイ
168 細胞/ml （表層）
※中部振興局の調査結果による
発生期間 令和4年6月15日～

(ヘテロシグマ・アカシオの注意点)

- ・ 警戒密度：50,000 cells/ml 注意密度：5,000 cells/ml
- ・ ヘテロシグマ・アカシオは魚介類に斃死を及ぼす有害な赤潮プランクトンです。特にシマアジに有害です。
- ・ 鉛直運動するため午前中に海色がよくても、午後から着色し被害が発生することがあります。
- ・ パッチ状になった赤潮は潮流や風の影響で移動し養殖、蓄養中の魚介類に被害をおよぼすことがあります。
- ・ 陸上養殖では夜間に、中層での赤潮を引き込む危険があります。

(カレニア・ミキモトイの注意点)

- ・ 注意密度：200細胞/ml 警戒密度：2,000細胞/ml
- ・ カレニア・ミキモトイは魚介類の斃死を引き起こす非常に有害な赤潮プランクトンです。
- ・ 特に、アワビ、サザエ等では海面が着色する前に斃死する可能性があります。
- ・ 表層が着色しなくても、中層に赤潮を形成していることがあります。
- ・ 午前中、海色が良くても午後から色が悪くなる可能性があります。
- ・ パッチ状になった赤潮は潮流や風の影響で移動し、養殖、畜養中の魚介類に被害を及ぼすことがあります。

赤潮発生場所での対応

- 投餌は控える。
- 赤潮海域へ魚介類を入れない。
- 赤潮海域から魚介類を避難する。
- 畜養は控える。

